

平成11年度 教育課程（算数科）

「ゆめ・未来」・「生きる」・「創造する算数」

平成11年8月20日（金）午前9時14分～ 保土ヶ谷公会堂にて

講演 「新学習指導要領とこれからの算数教育の課題」

講師 国大助教授 石田先生

算数科改善の基本的な考え方

ゆとりの中での基礎基本の確実な定着

時間をとってじっくり指導する
感覚を育てる

楽しさと充実感のある学習

一応の解決を得る

算数の良さに気付く有用、簡潔、一般化、正確、能率、発展
工夫して自力で解決できる

児童の主体的な活動の重視

同じ問題でもっとよく解けないか

解決方法のアイデアに気付いたり作り出す
学習課題をもったり問題づくりができる

基礎・基本的な知識や技能の習熟

NHKで放送している「マテマテカ」

提案 1 横浜プランの具現化に向けて

生きる力を強調～「自ら学ぶ」、「学び続ける力」

子供の見方を変える

「教えられる対象としての子供」、「自ら生きていく子供」

学びの意味を考え直し、生き方の推進をする 「自ら生きていく子供」を支援

「教師が教える」から「子供のわかりかた」「誤り方」をとらえ、じっくりと子供とつきあう

「学び」を、「その過程で多くの人と接し、いろいろな考え方があることに気付き、それを生かして、とも
えながら考えを深めていく行動」と考える

子供はどのような授業をのぞんでいるか、どのようなみちすじで解くか、日常の生活場面の中から数量関係を見つけ、楽しさを見い出す、他の教師や地域の人と協力して学習の展開を工夫する

提案 2 新プランと算数のかかわり～ゆとり・活力・魅力あるさんすう～

一人ひとりの多様な発想を追求したり、個々の習熟の時間をもつ

子供の自己実現ができる時間と場を保障し、支援し、創造する算数を追求する

「ゆとりある算数」＝「じっくり考える算数（時間・場面・空間）」

「活力ある算数」＝「広がる算数」「共に学び合い、深めたり広めたりする算数」

「魅力ある算数」＝「楽しい算数」

学び合い、他の教師や地域社会との連絡で楽しい算数を実現し、楽しさ・良さ・充実感を味わわせたい

共に学び合う多様な学習環境の形成、多様な学びの場の設定

（少数の学習、個々の課題の設定と追求）。教室外から問題を見つけること。

教科にとらわれず横断的・縦断的学習設定、相互に関連づける学習。「される評価」から「する評価」

実物を体験するなどで感覚を豊かにする

自分で作り出す算数、たとえば計算の仕方を自ら見い出すなど

提案 3 新世紀の算数学習の姿とは～算数で輝いている子供の成長像～

例：「敷きつめ活動」を紹介～多くのアイデアを思い浮かべる、発展させ、感覚を豊かにする

提案 4 移行期間の準備～留意事項、指導内容～ 手順と移行措置